

科目名	電気電子工学基礎	科目コード	21130
-----	----------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・1年
担当教員	大坪 茂（電気電子システム工学科）
単位数・区分	1単位・必履修
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義30】
教科書	
補助教材	必要に応じてプリントを配布する
参考書	なし

【A．科目の概要と関連性】

実体のつかみにくい電気電子工学を学ぶにあたり、その学ぶ意味・学び方・必要な基礎知識等を概説する。それによって電気電子工学の興味と創造性涵養を図るとともに2年時以降の本格的な専門科目を学ぶための基礎学力と課題の解決に最後まで取り組む意欲・興味を身につける。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
電気電子工学を学ぶことの意義を理解し、説明できる。	10%	c2
電気電子工学で使用される単位や単位に付ける接頭語、図記号、数学の基礎知識を理解し、説明できる。	10%	d1
直流回路について理解し、説明できる。	80%	d1

【C．履修上の注意】

到達目標達成度を確認するため随時小テストを実施する。適時、必要に応じて宿題や、レポート等の課題を与えるので必ずこれらをやっておくこと。疑問点があれば授業中に質問、あるいは放課後に等先生や友達に聞いてその日のうちに授業内容を理解しておくこと。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

再試験は行わない。

到達度試験（80%）

レポート等（20%）

【E . 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	電気・電子技術の利用と学び方	
2	電子の性質と電流・電圧の関係	
3	起電力・電位差・電圧	
4	オームの法則	
5	抵抗の直列接続	
6	抵抗の並列接続（ 1 ）	
7	抵抗の並列接続（ 2 ）	
8	抵抗の接続の応用（ 1 ）	
9	抵抗の接続の応用（ 2 ）	
10	電池の接続	
11	キルヒホッフの法則（ 1 ）	
12	キルヒホッフの法則（ 2 ）	
13	キルヒホッフの法則（ 3 ）	
14	電力とエネルギー	
-	定期試験	試験時間： 6 0 分
15	定期試験解説	